

T IT食農だより

発行元: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所: 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL: 0532-44-6655 E-mail: info@recab.tut.ac.jp

2025年7月15日

No.100

植物工場マネージャー・IT食農先導士 プログラム開講

6月7日（土）、最先端植物工場マネージャー育成プログラム13期生、IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）9期生がスタートしました。

開講式は、来賓として連携自治体、企業担当者が列席し、高山弘太郎先端農業・バイオリサーチセンター長、来賓の挨拶などと続き、受講生の自己紹介がありました。それぞれの受講動機や目標などに、来賓の方々、出席者が興味深く耳を傾けていました。

今回は、両プログラムを同時に受講しやすいよう募集要項を改訂した結果、植物工場マネージャー6名のうち、3名が同時受講をします。様々な背景をもつ受講生の皆さんには、お互いに交流を深め、約9ヶ月のプログラムで充実した時間を過ごされるよう、スタッフ一同サポートしてまいります。



開講式(受講生 来賓・スタッフと)

受講生募集中！

バイオリサーチセンターでは、今年度も社会人向け実践教育プログラム等を開講し、農業人材の育成に取り組んでいます。現在2講座について受講生募集中です。アーカイブ配信もありますので、リアルタイム受講が難しい方もお気軽にお申込みください。

また、先進事例を学ぶ視察研修等、受講生以外もご参加いただけるイベント等を随時ご案内してまいります。

詳細はバイオリサーチセンターウェブサイトをご覧ください。

先端農業・バイオリサーチセンター

<https://www.recab.tut.ac.jp/>

【募集中の講座等】

スマート農業特別講義

期間 9月～2026年1月 全6回
月1回（予定）

場所 オンライン

内容 本学の教員が各分野の研究最前線を紹介します

定員 なし

受講料 1万円（割引制度あり）

申込 8月8日（金）まで

市民講座

期間 7月～2026年3月 全9回
毎月第2水曜（予定）

場所 豊橋技術科学大学等・オンライン

内容 植物に関する講義（有機農業など）

定員 なし

受講料 無料

申込 随時（期間中いつでもお申込み可）



AGTS農業展へ出展しました

7月9日（水）～11日（金）にAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で開催されたAGTS農業展（Agribusiness Trade Show）へ出展し、パネル等でバイオリサーチセンターの人材育成事業の取り組みなどを紹介しました。東海地域で初開催となる今回、多くの来場者で賑わい、大学からは会場を往復する無料の送迎バスを運行しました。また、高山弘太郎バイオリサーチセンター長が「植物生体情報に基づいて最適環境制御を実現するデジタル施設園芸」と題して、リアルタイム光合成計測システムと画像計測ロボットの概要を紹介、施設園芸の高収益性を維持する上で不可欠なCO₂濃度の最適制御のあり方について講演しました。

東三河グローアップミーティング(サステナブルな農業を考える視察会) 開催

6月17日(火)、バイオリサーチセンターは、東三河懇話会・emCAMPUS STUDIOと共催で「東三河グローアップミーティング(サステナブルな農業を考える視察会)」を開催しました。

東三河懇話会は、地域の産学官民が連携し、この地域の持続的な発展と課題解決を目指して情報共有・交流・研究活動を推進する組織です。

今回は、人材不足や高齢化などの課題を抱えるなか、独自の取組でサステナブルな農業に挑戦する農業事業者を視察するというテーマで開催しました。当日は東三河懇話会員およびIT農業ネットワーク会員に加えて、最先端植物工場マネージャー13期生、IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)9期生が「先進事例調査研修」(選択科目)として参加し、計17名で2件の農場を訪問しました。

1. 株式会社にいみ農園(愛知県碧南市)では、ミニトマトとイチジクを中心に多品目を栽培、代表取締役の新美康弘さんから、「スマート農業」の『スマート』とは、頭を使うことである」との考え方で、コストや労務を抑えながらミニトマトの周年栽培を実現されている状況が紹介されました。

2. 株式会社トクイテン(愛知県知多市)では、生産者として有機農業でミニトマトを育てながら、AIとロボットによる自動化に取り組んでおり、リードマーチャニアルデザイナーの野々山昭太さん(植マネ8期生)より、事業の説明や残渣を堆肥化する際に発生する熱を暖房に利用する取り組みなどの説明がありました。

サステナビリティやテクノロジーの可能性について学ぶ充実した研修となりました。



(株)にいみ農園の出荷場の様子



(株)トクイテンの取り組み説明の様子

市民講座「実はすごい!! 植物の話」開講

バイオリサーチセンターでは、豊橋市の補助事業として、農業や植物に理解を深めることを目的とした市民講座を実施しています。今年度は、近年注目が高まっている有機農業をはじめとしたテーマなど、7月から翌年3月まで全9回の開催を予定しています。12月回には、毎年好評のクリスマスにちなんだフラワーアレンジ作りも行います。講座は対面またはオンラインで参加でき、アーカイブ配信もあります。第1回となった7月9日(水)には、46名の申込があり、20名を超える方が大学に足を運び、対面で参加されました。随時参加受付中です。興味のある方はぜひご参加ください。(概要は表面)

100号の節目に寄せて

「IT食農だより」は、おかげさまで第100号を迎えることができました。この節目を迎えるにあたり、これまでご支援・ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。

本紙は、バイオリサーチセンターが実施した文部科学省科学振興調整費「東三河IT食農先導士養成拠点の形成」事業とともに2009年「IT食農先導士だより」としてスタートしました。

その後、社会人向け農業人材育成の広がりを受け、2014年に「IT食農だより」へと名称を変更、センターの取り組みを紹介するほか、修了生の活躍、旬の食物や季節の花なども取り上げてきました。

これまでに実施したプログラムの修了生は延べ650名を超え、多くの方が地域や様々な立場で活躍しています。今後は、マッチングなど新たな取り組みも進めながら、地域はもとより、日本全体の農業の活性化に寄与する人材の育成を目指し、その歩みを紙面で紹介してまいります。今後とも「IT食農だより」をどうぞよろしくお願いいたします。